

平成26年年度（2014年年度）事業報告書

1. 事業の状況

(1) 男子学生の収容

本年度は4月に1名（首都大学東京4年生）と5月に1名（東京理が大学1年生）が入寮し、4月の一カ月間だけ入寮していた東京大学3年生が5月始め退寮し、また、8月末に中国人留学生・譚仁岸君が帰国。9月から2名（東京大学修士課程の韓国人留学生と、早稲田大学修士課程の中国人留学生）が入寮。9月以降、寮生は合計9名。内訳は、東京大学、日本大学、政策大学院大学、東京理科大学、首都大学東京、早稲田大学など、東京都下の大学生、大学院生です。この中には、2名の中国人留学生と1名の韓国人留学生が含まれており、国際色豊かで有意義な共同生活を送ることができました。

(2) 聖書研究会の開催

寮長の森山浩二が聖書研究会を主宰し、聖書講義は寮長の森山浩二が原則として2週間に1度の割合で担当し、その他、理事長の千葉眞氏、学寮先輩の中村陸郎氏、島創平氏、木村護郎氏、遠藤亘氏や寮長の友人の小舘美彦氏、須藤誠氏、田中健三氏などの協力を得ました。夏、冬、春の大学の休暇を除いて、毎週日曜日の朝9時より1時間半開催しました（「聖書講義」の題などは別紙参照）。出席者は本寮の学生と寮長夫妻、寮の先輩、友人たちです。

(3) 感謝祭（寮祭）の開催

本年も、4月29日（金）に85周年の春風学寮感謝祭（寮祭）を、70名の参加を得て行いました。今回は卒寮生の木村護郎先輩（上智大学教授）「Energi ewende」と、理事の増田信彦様「85周年と私」と題して講演を伺いました。

(4) クリスマス講演会

例年通り、下記のようなプログラムで開催いたしました。

(月日)	平成24年12月20日（土）午後6時—9時半
(会場)	春風学寮
(クリスマス講話)	「羊飼いたちのクリスマス」黒川知文(愛知教育大学教授)
(参加者)	来賓・学寮先輩・寮生合わせて40名
(内容)	クリスマス礼拝、夕食会、演奏、ゲーム、プレゼント交換など

(5) 留学生の支援

中国からの留学生2名と韓国人留学生1名を奨学援助しました。

(6) 読書会の開催

本年度は2回、新寮生を対象に、内村鑑三『後世への最大遺物』（岩波文庫）「後世への最大遺物」と、「デンマーク国の話」の読書会を行った。

(7) 講演会

10月25日（土）午後、卒寮生の木村護郎（上智大学外国語学部教授）に「ドイツのエネルギー転換と日本一原発への対応」と題して講演をしてもらう。寮生と外部の友人なども参加した。又、3月28日（土）の午後、丹羽麻子氏（NPO 法人ウィメンズスペース ぷくしま）に「原発災害下で暮らすということー福島的女性相談の現場から」と題して、講演をしてもらう。この時も、外部の方々と共に、有志の寮生が聴いた。

(8) 寮生の教育的活動への援助

春と夏の中高校生聖書講座のサブ・スタッフとして参加した寮生の参加費補助、「内村鑑三キリスト教講演会」の手伝いと参加をした寮生の交通費などの補助を行った。

(9) 7月1日（火）の夜、8月末で一橋大学院博士課程を卒業して中国に帰国する譚仁岸君の送別お寮生の親睦を兼ねたボウリング大会を行う。

(10) 学寮ホールの使用について

毎月第4土曜日の午後、寮長主催の「現代社会学習会」を外部の方々も含め、寮生と共に行う。寮の大先輩であり、当学寮理事の中村陸郎さん代表の多摩家庭集會を年6回、学寮ホールで行いました。

2. 処務の概要

(1) 役員等に関する事項

(平成26年度末現在役員等)

役職名	氏名	就任年月日	担当	現職
評議員	浅野勝弘	平24.4.1		浅野塾理事長
評議員	春日久紀	〃		前（株）メタルワン鋼管部
評議員	木村護郎	〃		上智大学教授
評議員	谷 博行	〃		自由学園講師
評議員	増田明彦	〃		増田ビル役員
理事	諏訪 基	平26.4.1	前国立障害者リハビリセンター研究所所長	
理事	千葉 眞	〃	代表理事	国際基督教大学教授

理事	中村陸郎	〃		齊藤病院副院長
理事	眞方忠道	〃		神戸大学名誉教授
理事	増田信彦	〃		元大蔵省勤務
理事	本川達雄	〃		東京工業大学名誉教授
理事	森山浩二	〃	寮長	元恵泉女学園中・高校教諭
監事	殿木 輝	平 2 4 . 4 . 1		殿木会計事務所・社長

※手当はどの役員もない。